

【別紙 1】

1. J-POWER グループ環境経営ビジョンの構成

環境経営ビジョンは、「基本方針」および「アクションプログラム」からなり、アクションプログラムは「コーポレート目標」「セグメント目標」および「環境行動指針」で構成しています。

2. アクションプログラムの内容

	コーポレート目標	セグメント目標	2005 年度環境行動指針
	グループ全体で取り組むもの	各事業部門・グループ各社が自ら設定し取り組むもの	当該年度における取り組み課題を示すもの
地球環境問題への取り組み 【地球温暖化対策】	2010 年度の J パワーグループの国内外発電事業における販売電力量あたりの CO2 排出量を 2002 年度比 10%程度削減するよう努める	火力部門：発電プラントの高効率運転と新設時の高効率設備導入 水力部門：水力発電所の生産性向上 共通課題：ビル・オフィスの省エネ、自動車燃料の節減	エネルギー利用効率の維持・向上 CO2 排出の少ない電源の開発 技術の開発・移転・普及 京都メカニズムの活用等 CO2 以外の温室効果ガスの排出抑制
地域環境問題への取り組み 【循環型社会形成】	産業廃棄物ゼロミッションを目指し、2010 年度末までに J パワーグループ全体で有効利用率 97%を達成するよう努める	火力部門：SOx・NOx 排出抑制、工業用水使用量の削減、石炭灰の有効活用 水力部門：流木の有効利用 共通課題：オフィスにおける省資源、廃棄物の削減	環境負荷の排出抑制 循環資源の再生・再利用 有害化学物質の管理 自然環境の保全への配慮 海外プロジェクトにおける環境配慮 技術研究開発の推進
透明性・信頼性への取り組み 【環境マネジメント推進体制充実】	2007 年度までに J パワーグループ全体に環境マネジメントシステム(EMS)を導入する	ISO14001 認証取得、EMS の導入 環境コミュニケーションの推進、環境ボランティアへの参加 グリーン購入・調達への推進 環境事故未然防止対策の推進 環境教育の徹底	環境管理レベルの向上 環境管理システムの効果的な運用 環境管理コンサルティング事業の推進 グリーン調達への取り組み 環境情報の公表 コミュニケーションの活性化 社会貢献活動の推進